

# 令和2年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日時: 第1回 2020年10月13日(木) 13:00~17:00

第2回 2020年10月20日(木) 13:00~17:00

場所: 学内:兵庫県立大学 明石看護キャンパス(演習室 406)

学外:兵庫県立大学遠隔講義室(Zoom)

テーマ: 緩和ケアにおける症状マネジメント Up to date

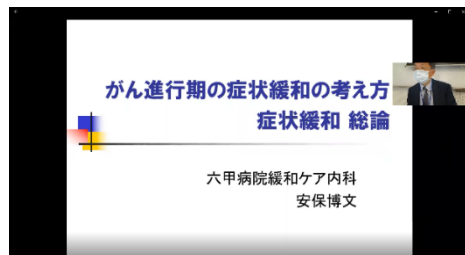
第1回 消化器症状および呼吸器症状のコントロールのマネジメント

第2回 倦怠感の症状コントロール、精神神経症状のコントロール、苦痛緩和のための鎮静、緩和ケアのためのコミュニケーション技術

講師: 安保 博文先生(国家公務員共済組合連合会六甲病院 緩和ケア内科部長)

受講者: 各回 4名(うち学外 1名)

主催: 兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン代表 内布敦子



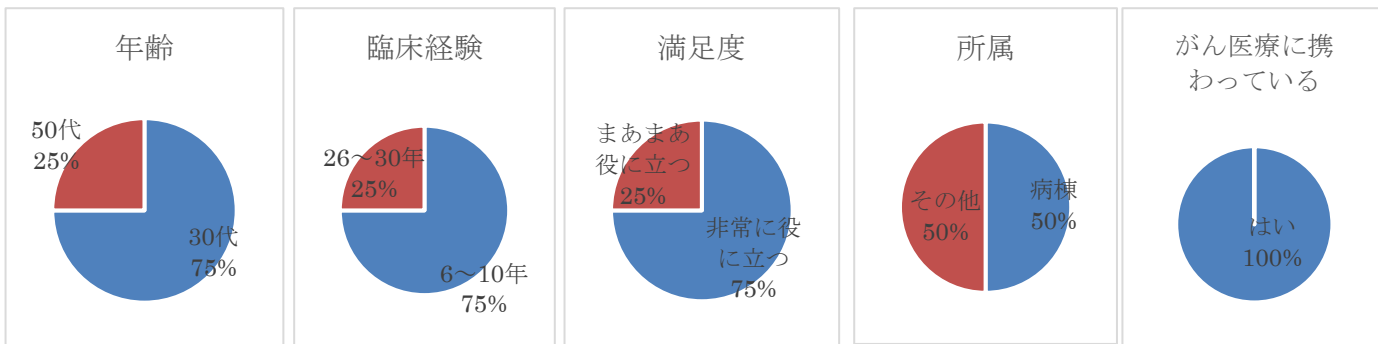
## <概要>

六甲病院 緩和ケア内科部長 安保 博文先生から緩和医療学概論特別講義「緩和ケアにおける症状マネジメント Up to date」として、「消化器症状および呼吸器症状のコントロールのマネジメント」、「倦怠感の症状コントロール、精神神経症状のコントロール、苦痛緩和のための鎮静、緩和ケアのためのコミュニケーション技術」として2回に分けての講演でした。表面的な状況や思い込みにとらわれないこと、痛みの軽減や睡眠の質の大切さ、様々な条件や状況にきちんと向き合う大切さについて考える機会になりました。

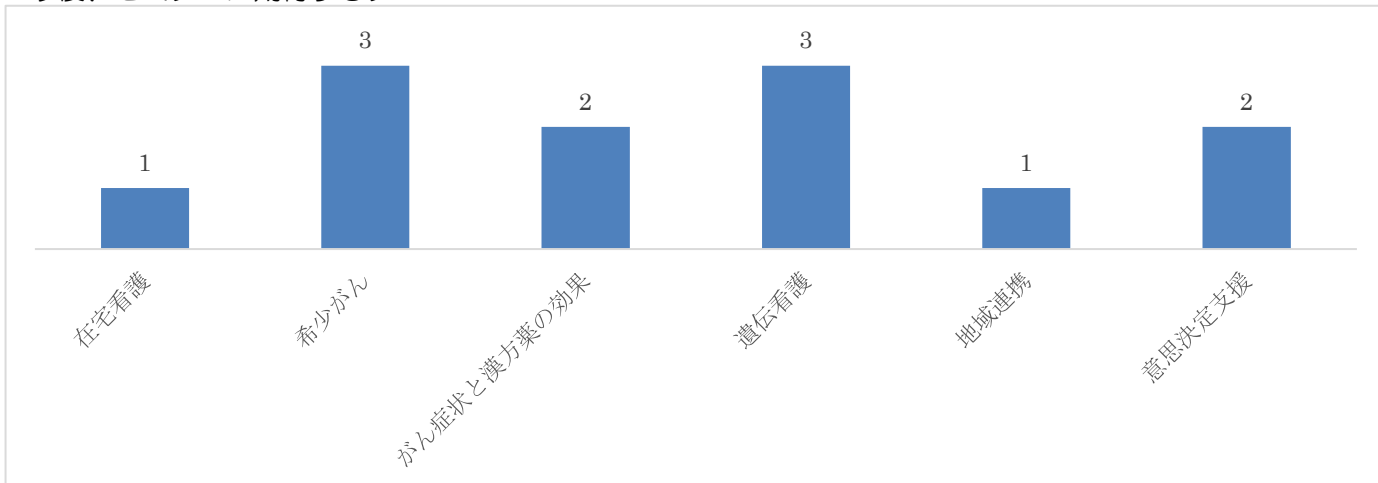
また、あらかじめ、参加者の方から臨床において感じていたことなどを課題としてご提出いただき、講義中にそれぞれについて丁寧にご説明があり、充実した時間となりました。

## <アンケート結果>

### ●参加者について



### ●今後、セミナーに期待するテーマ



## ●参加者からのコメントより

▼今回のセミナーで、あなたが感じたこと、印象に残ったことがあれば自由にお書きください。

- ・症状マネジメントの方策について丁寧に説明されており、非常に勉強になりました。
- ・せん妄対策が病棟目線での説明でわかりやすかったです。ACP の認識も変わりました。
- ・外部から 1 名の参加でしたが、講師に先生には心配りしていただきとても有意義なセミナーでした。感謝いたします。
- ・各症状をトータルペインの視点でアセスメントを行う際に、多方面から臨床判断を深めていく前に、まずは「患者さんの話をしっかりと聴きくこと」、「患者・家族・医療チームで共通の目標を設定すること」が重要なことと理解していても現場では難しいこともあります。しかし、今後 CNS としては固定観念に捉われず、視点を変えて患者さんの理解を深め、患者が希望する目標に少しでも近づけるように、高度実践看護を提供するための学習を深めていきたいと思いました。
- ・症状マネジメントの方策について丁寧に説明されており、非常に勉強になりました。

▼がん患者の緩和ケアにおいて、今、最も強く感じている課題をお書きください。

- ・疼痛コントロールの評価
- ・幅広く考えること
- ・入院患者への看護全般